

現代の中東

第36号

2004年1月

目次

中東産油国の石油埋蔵量評価と生産増大への課題.....武石礼司	2
変革期を迎えたエジプトの小麦流通	
小麦流通構造と食糧補助制度の変遷.....土屋一樹	36
テヘランの公設市場	
食料流通と都市行政.....岩崎葉子	54
調査動向	
エジプトの貧困の状況	
近年の社会調査の分析結果をもとに.....岩崎えり奈	68
現地報告	
その後のアフガン農村	
憲法草案発表のなかで.....鈴木均	82
資料紹介.....	90

編集後記

拘束されたサッダームの映像は余りに衝撃的だった。9・11同時テロの際もそうだったが、歴史を揺るがす映像は時として言葉よりも遥かに雄弁だ。これからサッダームは何を語るのか。今後しばらくは彼の言葉に世界中が耳をそばだてることになるのだろう。（鈴木）

ありとあらゆる手を使って、自らの存在を国の歴史に刻み込もうとするのは、「独裁者」の常である。では、イラクのフセインは……。そう考えるたびに、フセイン政権時代に「アッラーフ・アクバル」(アッラーは偉大なり)という文字が書き込まれたイラクの国旗を思い出す。

新生イラクは国旗に刻印された独裁政権の記憶にどう対処するのだろうか。消すのはちょっと気が引けるだろう。などと躊躇すること自体、「独裁者」の思う壺なのかもしれない。（青山）

中東研究者の「商売」が繁盛するのは、きまって中東で不幸な出来事が生じている時である。われわれが「開店休業」になってしまうのが、現地の人々にとっては望ましい。平時でも日本の関心と理解が中東に及ぶように、固有の状況をとらえつつ普遍性を伴った議論を構築していきたい。（池内）

現代の中東 No.36

2004年1月15日発行© 定価1365円

(本体1300円)

編集・発行 独立行政法人日本貿易振興機構

アジア経済研究所

編集 地域研究センター

発行 研究支援部

〒261-8545 千葉県千葉市美浜区若葉3丁目2番2

TEL043-299-9735 FAX043-299-9736

E-mail: syuppan@ide.go.jp

本誌に掲載されている論文などの内容や意見は、外部からの投稿を含め、執筆者個人に属し、日本貿易振興機構あるいはアジア経済研究所の公式見解を示すものではありません。